

環境負荷の少ない移動に関する方針

制定:2026年6月26日

株式会社ブラウブリッツ秋田

1. 基本的な考え方

ブラウブリッツ秋田は、クラブ活動に必要な移動に伴う温室効果ガス(GHG)排出量の削減を重要な課題と認識しています。秋田県は自動車を中心とした移動が欠かせない地域である一方、選手・スタッフ・ファン・サポーター・企業などと連携しながら、徒歩や自転車での移動、公共交通機関の利用促進、相乗りの推進など、環境に配慮した移動手段の活用に取り組みます。スポーツクラブとしての発信力を活かし、持続可能なモビリティ文化の醸成に貢献します。

2. 長期ビジョン

秋田の交通環境の特性を踏まえながら、クラブ活動に伴うすべての移動由来のGHG排出量を段階的に削減します。ファン・サポーター・スタッフ・選手が環境負荷の少ない移動手段を選びやすい環境を整え、秋田において持続可能なモビリティ文化の醸成に貢献することを目指します。

3. 目標

【ファン・サポーターの移動】

- ・ ホームゲーム来場者の交通手段アンケートを毎シーズン実施し、結果を公式HPで公表する(2026年シーズンより開始済み)
- ・ ベースライン原単位:8.608 kgCO₂e/組(2026年4月調査実績)
- ・ 公共交通・自転車・徒歩による来場割合を毎年記録・公表し、継続的な向上を目指す(ベースライン:徒歩・自転車13.9%、2026年4月調査)
- ・ 環境負荷の少ない移動手段でのインセンティブ施策を年1回以上実施する

【スタッフ・選手の移動】

- ・ 通勤や移動手段を環境負荷の少ないものを選択するようにします
- ・ チームバス・トラックで使用する燃料のBDF等代替燃料の導入を検討します

※ GHG由来の数値削減目標はGHG排出量算定の完了(2026年6月予定)後に確定し、本方針に追記します。

4. 取り組み内容

(1)ファン・サポーター向け

- ・ ホームゲーム来場時の公共交通機関・自転車・徒歩利用を推奨し、環境負荷の少ない移動を促進します
- ・ 来場交通手段アンケートの実
- ・ 施・集計・結果公表によりデータに基づく改善を継続します(2026年4月開始)秋田駅からスタジアムへの徒歩・自転車ルートの案内を強化します

(2)スタッフ・選手向け

- ・ スタッフの通勤における環境負荷低減の意識啓発を行います

- ・ 環境負荷の少ない移動手段に関する情報共有と取り組みの推奨を行います

※ ソユースタジアム(秋田市八橋運動公園陸上競技場)は施設管理者が秋田市であるため、施設設備に関わる変更・改善は施設管理者との協議を前提とします。

本方針はサステナビリティ基本方針(2026年制定)に紐づく個別方針です。